



【さんわか特別セミナー】

「実学からイノベーションを興すMOT」 講師：伊丹 敬之 先生

平成28年5月16日（月）16:00～17:35

東京大学農学部 弥生講堂一条ホール

(技術交流会：弥生講堂アネックス 17:45～)

主 催：日本農芸化学会 産学官学術交流委員会／産学官若手交流会（さんわか）

定員200名

(先着順・満席となり次第
締切りとなります)



講師紹介

伊丹 敬之（いたみ ひろゆき）先生

東京理科大学大学院技術経営専攻教授、一橋大学名誉教授、東芝取締役、JFEホールディングス監査役、商船三井監査役ほか

昭和44年一橋大学大学院商学研究科修士課程修了。昭和47年カーネギーメロン大学経営大学院博士課程修了・PhD。一橋大学商学部教授を経て、平成6年から2年間一橋大学商学部長。この間スタンフォード大学客員准教授等を務める。文化庁文化審議会、経済産業省水ビジネス国際展開研究会、内閣IT戦略本部など政府関係委員を多数歴任。平成17年紫綬褒章を受章。平成21年宮中講書始の儀進講者。

著書：『経営戦略の論理』（日本経済新聞社）、『よき経営者の姿』（日本経済新聞出版社）『経営を見る眼』（東洋経済新報社）、『創造的論文の書き方』（有斐閣）、『先生、イノベーションって何ですか?』（PHP研究所）など多数

MOT（Management of Technology；技術経営）研究で著名な伊丹敬之先生による特別セミナー企画！！

実学として発展してきた農芸化学研究ですが、最近、その存在感が薄くなってきてはいないでしょうか？真に社会の課題を解決するような、あるいは、人々の暮らしを豊かにするようなイノベーションはどうしたら興せるのか。経営学者の視点から、研究者が心得るべき課題について鋭く指摘していただきます。

現在のリーダーから未来の研究リーダーを目指す学生まで、産学官の多くの農芸化学関係者必聞のセミナーです。今後の研究の方向性を考える上で、きっと皆さんのお役に立つことと思います。

日本農芸化学会会員・非会員に関わらず、参加頂けますので、奮ってお申し込みください。

参加申込み

セミナー参加費：無料
技術交流会参加費：4000円

参加登録はホームページよりご登録ください
平成28年5月13日(金)締切延長

詳細はさんわかホームページをご覧ください。（<http://www.jsbba.or.jp/event/sanwaka>）
お問い合わせ先 E-mail : sanwaka_open@jsbba.or.jp